

## 3.18.2 国際推進部門 国際連携推進室

室長 小山泰弘 ほか6名

### 研究開発環境のグローバル化を推進

#### 【概要】

NICTの国際競争力を強化するためには、海外の優れた研究機関等との連携・協力を積極的に推進し、国際的に開かれた環境にて研究開発を実施する「研究開発環境のグローバル化」が重要である。

国際連携推進室では、NICTが海外の研究機関等との協力関係を構築し、さらには研究交流及び研究連携が促進されるよう、これら研究機関等との研究協力覚書の締結に積極的に取り組むとともに、この覚書を基礎とした国際共同研究、研究者やインターンシップ研修員の受け入れ、ワークショップ等の研究集会の開催等の施策を推進している。また、NICTの研究活動の認知度を向上するための国際広報活動を行うとともに、NICTの研究開発に資する海外の研究開発動向についての情報収集・調査分析を、海外連携センターを最大限に活用して行っている。

#### 【平成27年度の成果】

##### (1) 国際連携活動の推進

###### ① 研究協力覚書の締結

情報通信分野における研究開発を実施している大学や研究機関を中心に、新たに国外13機関との間で研究協力覚書(MOU)を締結した。中でも、順天郷大学サイバーセキュリティ研究センター(SCRC)は、大韓民国の私立の総合大学である順天郷大学内に設置されたサイバーセキュリティを主に研究している機関であり、新たなMOUの締結によってサイバーセキュリティ研究における研究連携の実施につながった。また、既に締結されているMOUを更新し、平成27年度末現在で有効なMOUは26か国(地域)93機関となった。MOU締結機関との間では、セミナーやフォーラムなどの研究集会を共同で開催し、情報交換・人材交流を図ることによって具体的な研究連携へと発展させている。

さらに、平成27年度においては、平成25年度及び平成26年度に引き続き、東南アジア諸国との国際連携を重視し、ミャンマー連邦共和国の情報通信省印刷局(PPE)(図1)と新たにMOUを締結し、タイ王国のチェンマイ大学(CMU)等ともMOUを更新した。また、昨年度に引き続き、マレーシアのクアラルンプールにおいて東南アジア諸国のMOU締結機関が一堂に会したASEAN IVO Forum 2015(図2)を開催して、新しい共同研究プロジェクトの形成に向けたオープンなイノベーションプラットフォームの枠組みの具体化が検討された。この枠組みのもとでの司令塔となるステアリングコミッティーを開催し、参加機関からの研究計画の提案をもとに新たな共同研究プロジェクトの形成に向けて作業を行った。



図1 PPEとの研究協力覚書の締結  
(平成27年8月3日)



図2 ASEAN IVO Forum 2015  
(平成27年11月26日)

###### ② 人材交流

平成27年度は、中国、タイ、ベトナム、台湾、米国、英国、フランス、イタリア、ポルトガル、スイスの10か国(地域)20機関から22名のインターンシップ研修員を受け入れた。また、外国籍研究者が研究活動を行う上での支援策として専門の日本語講師による日本語研修の実施や、職員への周知案内の英語化を行った。

### ③ 研究交流集会の開催・国際広報活動の推進

MOU を締結している機関との具体的な連携の一環として、表1に示すように多くの研究交流集会を開催した(図3、4)。また、総務省主催によるタイ王国、チリ共和国、ペルー共和国との官民合同 ICT 国際セミナーへの参加など、政府のイニシアティブの機会を積極的に活用して、NICT の研究成果を効果的に発信するように努めた。

表1 MOU などに基づき開催した国際研究集会

NICT R&D Forum in Silicon Valley	平成 27 年 6 月 9 日	米国・パロアルト
第3回 NICT-III 共同ワークショップ	平成 27 年 8 月 28 日	札幌市
U-STAR Workshop in Dresden, Germany, Interspeech 2015	平成 27 年 9 月 8 日	ドイツ・ドレスデン
3rd Workshop on Convergence of radio and optical technologies	平成 27 年 9 月 15 日	ベトナム・ホーチミン
ASEAN IVO Forum 2015	平成 27 年 11 月 26 日	マレーシア・クアラルン プール
第4回日米将来ネットワークワークショップ	平成 28 年 3 月 7・8 日	米国・サンマテオ
4th Workshop on Convergence of radio and optical technologies	平成 28 年 3 月 8 日	インドネシア・ジャカルタ
Workshop on Rural ICT	平成 28 年 3 月 10 日	カンボジア・プノンペン
The 2nd NICT-Unitec Joint Workshop	平成 28 年 3 月 24～26 日	ニュージーランド・ オークランド



図3 NICT R&D Forum in Silicon Valley



図4 Workshop on Rural ICT

## (2) 海外連携センターにおける情報収集と情報発信

各海外連携センター(北米連携センター、欧州連携センター、アジア連携センター)では、有識者や専門家との人脈を形成して現地でしか入手できない貴重な情報の収集と分析を行い、これらをいち早く NICT 内での研究活動に活かせるように提供している。また、NICT 内の要望に基づいてテーマを定めた動向調査を実施しており、平成 27 年度には表2に示す7件の調査報告書を取りまとめ、関係の研究者のニーズに即した情報提供を行った。

表2 海外連携センターで実施した動向調査の調査報告書

欧州における宇宙通信事業の動向調査(平成 28 年 1 月)
欧州における自動翻訳・音声認識・音声合成技術に係る研究開発の動向調査(平成 28 年 1 月)
欧州におけるプライバシー保護に係る研究開発および法制度の動向調査(平成 28 年 3 月)
欧州における次世代 SDN・NFV・IoT の研究開発に係る産業界の動向調査(平成 28 年 3 月)
米国における衛星通信分野等の研究開発動向調査(平成 28 年 3 月)
米国におけるソフトウェア・デファインド・ネットワーク(SDN)技術分野の研究開発動向調査(平成 28 年 3 月)
ICT 分野の研究開発に関する米国連邦政府及び議会の動向調査(平成 28 年 3 月)